



校訓：いきおい うるおい まとまり

令和3年度

連南中だより

倉敷市立連島南中学校



第16号

令和3年11月29日

干拓地で、海拔 1.0m・・・これはどこでしょう？

ズバリ、これはわが郷土、連島のことで。

ここで「連島の歴史クイズ」です。次の（ ）にあてはまる言葉を答えなさい。

連島は、(ア)川下流の河口付近東岸にある(イ)山周辺とその南部に広がる平野部を指す。古くは海に囲まれ、港として栄えた。鎌倉時代ごろには「都羅島庄(つらじましょう)」と呼ばれる荘園があったという記録が残っている。「連島」という表記は室町時代ごろから出てくる。このころ、高梁川の※沖積作用により川底が浅くなり、干潮時には干潟が広がるようになった。(ウ)時代には連島北側で、18世紀後半には南側(本校学区が含まれる)で本格的に干拓が行われ、新田開発が進行した。「鶴新田」もその一つ。この新田が全国屈指の(エ)の栽培地となり、手つむぎ糸が生産され、連島商人が全国を行商するようになった。(オ)も全国有数の産地であった。

明治時代になると、綿作が減り綿加工業も衰えた。代わりに、高梁川の後背(カ)帯であることを利用し、ハス田が多く誕生した。(キ)栽培が盛んに行われ、現在では連島レンコン、連島ゴボウとしてブランド化されている。

明治になって、連島・西之浦・(ク)・鶴新田の各村が合併して「連島村」となった。昭和42年に「倉敷市」となり今に至る。

※「沖積作用」河川の氾濫により、土砂が積もって新しい土壌ができること。

答え：ア 高梁 イ 大平 ウ 江戸 エ 綿花 オ イグサ カ 湿地
キ レンコン ク 亀島

このような歴史をもつ連島周辺は、「干拓地で、海拔は1.0m」。地震が起きて津波が来れば、浸水の恐れがあります。学校にいる時なら、校舎内の3, 4階に垂直避難します。しかし、もっと大きな地震だと地盤がゆるんで液体のように柔らかくなります(これを「液状化」と言います)。こうなると、建物内に留まることは危険なので、高台に移動することが必要です。

そこで、今回倉敷芸術科学大学に協力をお願いして、12月3日(金)午後、高台に避難する練習を行います。場所は知っていても、実際に行くことは、地元の人でもなかなかないと思います。この機会に、現地に行ってみて、危険を回避するためにはこういう場所がある、ということをしっかり体験してほしいと思います。そして、ぜひご家族に伝えてほしいと思います。

倉敷芸術科学大学ってどんなところ？

- 住所 倉敷市連島矢柄大字大平
 - 海拔 95m(最高地点)
 - 開学 平成7年
 - 学部
 - ①芸術学部(デザイン芸術学科、メディア映像学科)
 - ②生命科学部(生命科学科、生命医科学科、動物生命学科、健康科学科)
 - ③危機管理学部
- ｽｰﾄﾘﾝｸ(ｽﾏｰﾄ倉敷)も大学の施設の一つです。



「釜石の奇跡」知っていますか？

2011年に起きた東日本大震災。岩手県釜石市鵜住居(うすまい)地区の中学生が小学生と共に日頃の訓練のとおり、高台を目指して避難しました。恐怖でおびえる小学生を中学生が励ましたり、住民と協力したりしながらさらに高台を目指して進みました。続きは調べて！